

- 高学年の部(5人制)
 優勝 志道館学園
 二位 さくら会少年剣道部
 三位 大垣東部剣道少年団
 若鮎剣志会



高学年の部 優勝 志道館学園

なお、本大会は後日「ぎふチャン」テレビで、試合の様子や入賞チームの紹介、個人のインタビューなどが放映され、非常に好評を博しました。

◎第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

日時：令和4年9月18日(日)
 会場：おおきにアリーナ舞洲

- 選手
 先鋒 市川 蒼士(悟道館後藤道場)
 次鋒 小林 桃華(志道館学園小学生部)
 中堅 林 星偉(さくら会少年剣道部)
 副将 後藤 桜(悟道館後藤道場)
 大将 三宅 真央(志道館学園小学生部)

規定大会にて上位入賞した総勢12名による厳しい最終選考会を突破した、精鋭5名が岐阜県少年選抜チームとして第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会に出場しました。

強化の一環として、選抜チーム所属先に御協力いただいていたの強化練習、静岡県富士山杯遠征、滋賀県遠征、愛知県遠征を行い、万全の態勢で全国大会に臨みました。目標は2大会連続の予選リーグ突破です。

予選リーグ初戦、北海道との対戦を2-1で勝利。香川県が北海道に3-0で勝利したことから、予選リーグ突破には香川県戦での勝利が必須条件となります。

予選リーグ2回戦、一進一退の攻防が続き、先鋒から副将までは引き分けとなりました。決勝トーナメント進出は大將の三宅選手の勝利が必要となります。開始1分30秒を経過したところ三宅選手の素晴らしい面が決まり2大会連続の予選リーグ突破を果たしました。

決勝トーナメント1回戦、東京都との対戦は0-1で惜しくも敗れたものの全国大会にて2大会連続のベスト16入りを果たしました。

強化の過程で、誰ひとりとして妥協することなく、目標達成に向けた準備を徹底した選手は見事でした。今後の彼らの更なる成長に期待します。

最後になりましたが、強化に際し、御指導を頂いた岐阜県剣道連盟、岐阜県道場連盟、御協力をいただいた選手保護者様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責：加藤 洋基)

中学剣道の記録

今年度は、中学生を対象とした各種大会や育成・強化部による各種事業を、新型コロナウイルス感染症拡大以前の内容へと戻すことができました。

次年度も今年度同様の事業を継続しつつ、更なる競技力の向上と、中学生の育成を目指していきたいと考えています。以下に、今年度の大会結果をご報告します。

◎令和四年度岐阜県中学校総合体育大会剣道競技大会

令和四年七月三十、三十一日

OKBぎふ清流アリーナ

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、予選トーナメントを行い、その上で、決勝リーグを実施して、順位を決定しました。

男子団体戦東海大会出場校

- 大野中学校・関ヶ原中学校
 神戸中学校・萩原南中学校
 蘇南中学校

女子団体戦東海大会出場校

- 長森中学校・岐阜大学附属小中学校
 日枝中学校・大和中学校
 多治見中学校

男子個人の部

- 優勝 村上 宥皇③(高田)
 準優勝 長谷川友哉③(美濃加茂)
 第三位 森川 大翔③(蘇南)

- ベスト8 大矢 哲平③(美濃加茂)
 長屋 健人③(三輪)
 立花漱一朗③(羽鳥)
 羽賀 壮馬③(大野)
 大野 温史②(日枝)

女子個人の部

- 優勝 大門結希乃③(中山)
 準優勝 松村 智嘉③(大垣西)
 第三位 横山 紗来②(大和)

- ベスト8 石原 彩伽③(岐大附属)
 川島萌々華②(桜丘)
 林本 怜③(大垣東)
 大野 夏鈴②(日枝)

東海大会には、右記のベスト8以上の選手が出場しました。

全国大会には、

右記以外に、東海大会出場校は、下記の通り。

男子団体の部

- 優勝 美濃加茂中学校
 準優勝 郡上市立大和中学校
 第三位 養老町立東部中学校

女子団体の部

- 優勝 郡上市立白鳥中学校
 準優勝 池田町立池田中学校
 第三位 岐阜市立境川中学校